



# 竹灯りに魅せられる

10月31日と11月1日、町並み保存地区一帯で憧憬の路が開催されました。



▲憧憬の路開催はボランティアの力で支えられています。▶



▲着物姿の華やかな女性も多く見られました。

▼子どもと楽しむ憧憬の路。



▲竹の美しい音色が響く会場。



▲今年は韓国の潭陽郡から竹細工を作る名人たちが竹原市を訪れ、町並み保存センターに作品を展示しました。



外国からの観光客も、美しい竹灯りを楽しんでいました。▶



▶茶会では、カナダからの留学生が日本の伝統にふれていました。

## 力を合わせて 平和なまちに

10月17日、市役所で暴力団追放市民決起集会が開かれました。竹原小学校の児童による演奏に合わせて、参加者が街頭パレードを実施。

みんなで力を合わせて、平和で明るいまちをつくりましょう。



## 竹原はぶちええんよ！

10月25日、バンブー公園でぶちええ竹原まつりが開催されました。地域の物産品販売やステージイベントなどで会場は賑わいました。

障害のある人を応援するかぐやパンダのコーナーでは、可愛い姿を発見！



## 峠下牛のおいしさ 市外へPR

10月24・25日、広島城周辺でひろしまフードフェスティバルが開催されました。竹原市のブースでは、観光協会が販売する峠下牛を美味しく食べる人々が。ぜひ竹原のグルメを多くの人に知ってもらいたいですね。



## みんなでいい汗を流そう

11月8日、休暇村大久野島でラビットクロカンが開催されました。今年もミュンヘン五輪代表の采谷選手と多くの方が走りました。青空の下、がんばって完走した人からは、さわやかな笑顔が見られました。



## 力強い歌声が響きわたる

11月7日、市民館で第7回竹原市子ども文化祭が開催され、市内の幼稚園、小・中・高等学校、PTA 母親代表が歌や太鼓、群読などを発表しました。東野小学校は、オペレッタ「夕鶴」を発表。鶴の恩返しストーリーを歌や踊り、セリフで表現しました。最後の鶴が去る場面では、児童の「待ってくれー！」という切ないセリフと気持ちのこもった歌声が響きわたり、観客の感動を呼びました。保護者のみなさんにとっては、子どもの成長が見られた一日となったのではないのでしょうか。



## 目指すのは「防災の里 笑顔があふれる まちづくり」

11月22日、竹原第5地区協働のまちづくりネットワークが、竹原西小学校で自主防災訓練を実施しました。地域住民や関係機関合わせて200人余りが参加。4種目の訓練を体験した参加者からは「勉強になった」「実際に体験してみると分かることがあった」「毎年訓練したら自然に覚えるのでは」との声が聞かれました。10月25日には荘野地区で、11月1日には吉名地区でも住民自治組織による自主防災訓練が行われ、自分たちのまちを自分たちで守るという意識が高まっています。